

## PART 1 「歯内療法の診断」と「2歯根尖含有病変」

## CHAPTER 1 2歯根尖含有病変の定義

1. 2歯根尖含有病変とは「2つの根尖を含む病変」である
2. 2歯根尖含有病変の分類

【症例1】[Type I-1] 上顎左側中切歯と側切歯を含む2歯根尖含有病変

【症例2】[Type I-1] 上顎右側中切歯と側切歯を含む2歯根尖含有病変

【症例3】[Type I-1] 上顎右側中切歯と側切歯を含む2歯根尖含有病変

【症例4】[Type I-2] 上顎右側中切歯と側切歯を含む2歯根尖含有病変

【症例5】[Type II] 上顎左側中切歯と側切歯を含む2歯根尖含有病変

【症例6】[Type III] 上顎右側中切歯と側切歯を含む2歯根尖含有病変

## CHAPTER 2 歯内療法における歯の診断と治療の考えかた

1. AAEによる診断名
2. 「根管未処置歯」に対する考えかた
  - 1) 歯髄疾患の種類
  - 2) 歯髄検査の臨床的な位置づけ
  - 3) 定義が曖昧な可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎
  - 4) 歯髄壊死に対する対応法はただ1つ
3. 「根管既処置歯」に対する考えかた
  - 1) 根管治療の質の評価
  - 2) 築造の質、歯冠修復の質の評価
4. 「根尖周囲の状態」に対する考えかた

## CHAPTER 3 問題解決の手段としての逆根管治療

1. 根管に対して行われる治療の種類
2. 逆根管治療の考えかた
  - 1) 逆根管治療に対する偏見
  - 2) 逆根管治療の本質
  - 3) コロナルリーケージと逆根管治療の関係
3. 逆根管治療の適応症
4. 再根管治療と逆根管治療の関係
5. 逆根管治療時の注意点—搔爬に対する誤解—

【症例7】逆根管治療不適応と判断し、非外科的根管治療で対応した症例

## CHAPTER 4 2歯根尖含有病変における1歯の治療法の治療方針

1. 「①根管未処置で生活歯」の場合の治療方針
  - 1) 2歯根尖含有病変における正常歯髄と抜髄の関係
  - 2) 不可逆性歯髄炎と診断した場合の治療方針
  - 3) 正常歯髄あるいは可逆性歯髄炎と診断した場合の治療方針
2. 「②根管未処置で失活歯」の場合の治療方針
3. 根管既処置歯に対する治療方針

- 1) 「③根管既処置で根管治療良好+築造良好」の場合の治療方針
- 2) 「④根管既処置で根管治療良好+築造不良」の場合の治療方針
- 3) 「⑤根管既処置で根管治療不良+築造良好」の場合の治療方針
- 4) 「⑥根管既処置で根管治療不良+築造不良」の場合の治療方針

## CHAPTER 5 2歯根尖含有病変の治療の進めかた

【STEP 1】それぞれの歯が取り得る状態を推定する

【STEP 2】原因歯を推定する

【STEP 3】根管治療および築造の必要性を選定する

- 1) 治療の必要性が決まる場合
- 2) 治療の必要性が決まらない場合
- 3) 顎骨病変の場合

【症例8】2歯根尖含有病変が疑われたが、歯原性角化嚢胞と診断された症例

【STEP 4】治療法の選択

- ①A：再根管治療が必要、B：有髄歯あるいは既根管治療歯で根管治療は不要の場合
- ②A：再根管治療は不要、B：有髄歯の場合
- ③A：再根管治療は不要、B：未処置歯もしくは再根管治療が必要な場合
- ④ABともに再根管治療が必要な場合
- ⑤ABともに再根管治療が不要な場合

## PART 2 2歯根尖含有病変への対応【臨床例】

## CHAPTER 1 上顎における2歯根尖含有病変

【症例9】上顎中切歯 - 中切歯における2歯根尖含有病変

【症例10】上顎中切歯 - 側切歯における2歯根尖含有病変

【症例11】上顎側切歯 - 犬歯における2歯根尖含有病変

【症例12】上顎犬歯 - 第一小臼歯における2歯根尖含有病変

【症例13】上顎第一小臼歯 - 第二小臼歯における2歯根尖含有病変

【症例14】上顎第二小臼歯 - 第一大臼歯における2歯根尖含有病変

【症例15】上顎第一大臼歯 - 第二大臼歯における2歯根尖含有病変

## CHAPTER 2 下顎における2歯根尖含有病変

【症例16】下顎中切歯 - 中切歯における2歯根尖含有病変

【症例17】下顎中切歯 - 側切歯における2歯根尖含有病変

【症例18】下顎側切歯 - 犬歯における2歯根尖含有病変

【症例19】下顎犬歯 - 第一小臼歯における2歯根尖含有病変 (CBCT導入以前の症例)

【症例20】下顎第一小臼歯 - 第二小臼歯における2歯根尖含有病変

【症例21】下顎第二小臼歯 - 第一大臼歯における2歯根尖含有病変

【症例22】下顎第一大臼歯 - 第二大臼歯における2歯根尖含有病変

診断力を上げる

# 2歯根尖含有病変の診断と治療

著 吉岡 隆知  
吉岡デンタルオフィス

2歯の根尖を含む大きな病変に遭遇したとき、あなたは何を考えますか？



2歯の根尖を含む大きな病変(2歯根尖含有病変)に遭遇したとしても、「病変の原因」を見極め、それぞれの「歯の状態の評価」を行うことで、治療方針(治療方法)を決定することは難しくはありません。歯内療法における「診断」と「状態に応じた治療法」を深く掘り下げた本書は、2歯根尖含有病変に関係する歯の保存の可能性を高める一冊になることでしょう。

A4判 100ページ

ISBN 978-4-909066-63-3 C3047

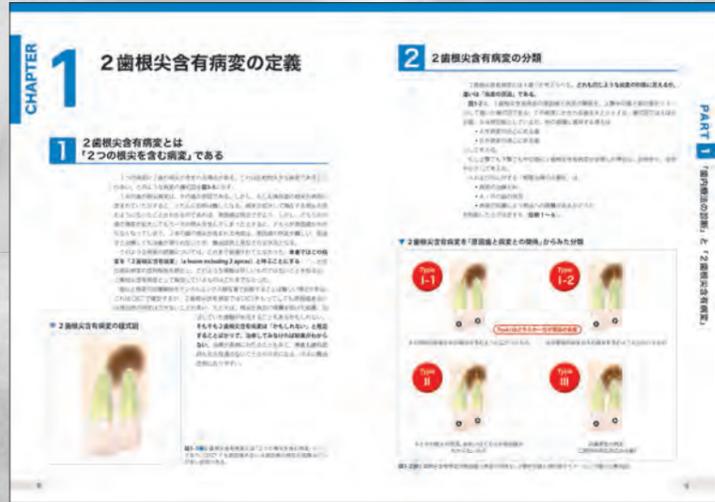
定価 7,800円+税

## 注文票

品名	定価	冊数
診断力を上げる 2歯根尖含有病変の診断と治療	7,800円+税	

2 歯根尖含有病変への対応も 1 歯の診断から

# 根管未処置歯と根管既処置歯に対する着眼点と診断を学ぶ



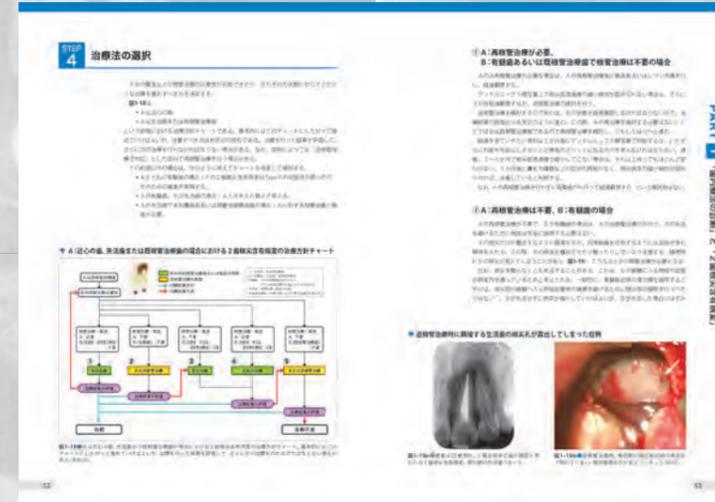
▲ 2 歯根尖含有病変を「原因歯」を軸に分類し、問題解決につなげます

▼ 根管と根尖周囲の診断を整理し、根管未処置歯と根管既処置歯への治療の理解を深めます



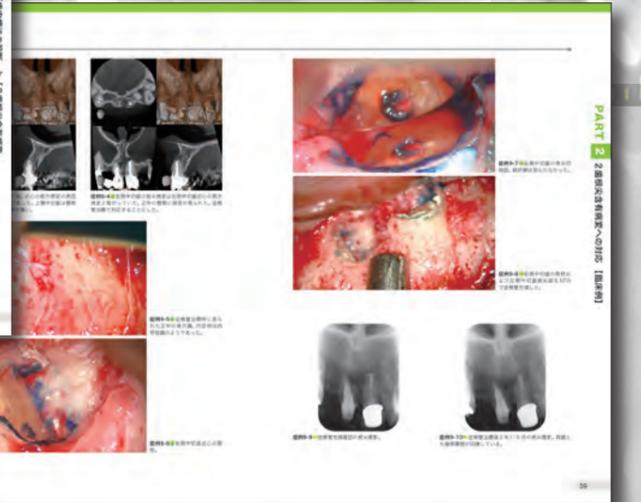
著者オリジナルの治療方針フローチャートを駆使して問題解決に活かす

# 2 歯根尖含有病変に対する治療方針と進め方を学ぶ



▲ 著者考案の 2 歯根尖含有病変に対する治療方針チャートを掲載しています

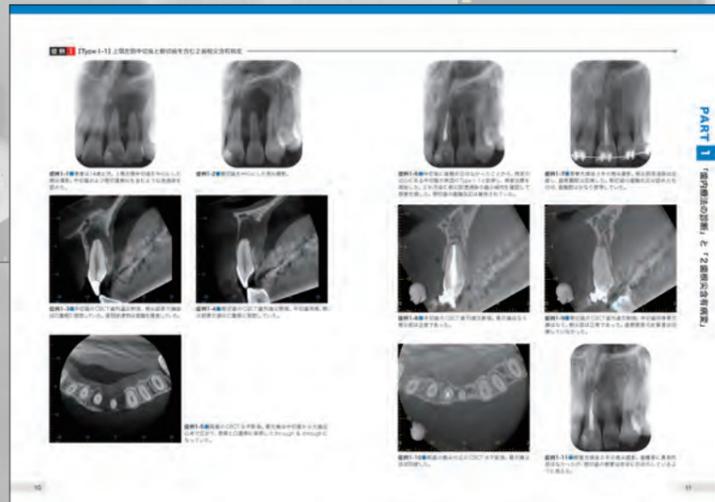
▼ 治療方針チャートに基づいて治療を行った臨床例で、治療の流れをイメージできます



# 難治症例になりやすい 2 歯根尖含有病変 (a lesion including 2 apices) の診断と治療法について解説した世界初の一冊

著者が実際に対応した 2 歯根尖含有病変を 22 症例掲載

# 豊富な臨床例から、着眼点・診断・治療時の配慮点を学ぶ



▼ 上下顎すべての歯における 2 歯根尖含有病変症例を 22 症例掲載しています

▼ 多数の臨床写真と丁寧な図説明で「著者がどこに着眼したのか」「治療中どんなことに配慮したのか」がわかります



**【著者紹介】**  
**吉岡 隆知** 先生 東京都千代田区 吉岡デンタルオフィス  
 日本歯科保存学会 専門医・認定医、日本歯内療法学会 専門医  
 Zeiss 公認インストラクター、歯内療法症例検討会 代表、ほか

歯科、とりわけ歯内療法を「科学的に捉えることはできないのか」と常々考えています。病態にしても治療法にしても科学的に見て考える——このような同じ目線でディスカッションできる先生が 1 人でも増えてくれることを願っています。

1991年 東京医科歯科大学卒業  
 2000年 東京医科歯科大学助手  
 2010年 吉岡デンタルオフィス開業、東京医科歯科大学非常勤講師  
 2020年 東京医科歯科大学臨床教授

